

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	教育実習Ⅱ事前事後指導(小) [Guidance Before-after Internships in Pre-school/SchoolⅡ]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750151	授業形態	実習	単位数	1	配当学年	4年次
教員氏名	宮内 孝			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP2(2) DP3(1) DP3(2)		
授業概要	<p>この授業では、教育実習の事前指導と事後指導の2つに分けて行います。事前指導では、教育実習のねらいが達成するために必要な態度や知識そして技能の習得をねらいます。事後指導では、教育実習を通して学んだことの省察を通して、教員として必要な自己課題を明確にするとともに、その課題解決のための学修意欲を高めることがねらいです。</p> <p>事前指導では、「教育実習の意義と目的」「実習の内容と方法」「実習日誌の書き方」「記録の取り方」「指導計画及び学習指導案の作成と模擬授業」などについて学びます。「教育実習CBT」を活用して、教員として身につけておくべき基礎的知識や指導法を学びます。事後指導では、「教育実習の省察」「教育実習報告」などについて学とともに、「教育実習CBT」を活用して自己の教師として必要な資質能力の変容を確認します。</p> <p>授業者は、小学校教諭・教頭として教育実践及び教育実習生の指導を行った経験があります。この経験を通して得た知見を生かして、学校の教育的な営みや教育現場に臨むために必要な心構えや資質等の解説・指導を行って、本</p>						
関連する科目	小学校観察教育実習						
授業の進め方と方法	課題解決のためのグループワークを用いた授業展開を多く取り入れます。また、教育実習を経験した学生や現職の小学校教員を交えての協議を取り入れて、より具体的に学べるようにします。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育実習の意義及び目的及び教育実習の内容について</li> <li>2. 教育実習の具体的事項について</li> <li>3. 教育実習中の姿勢・態度についてと教員に必要な資質能力の自己の実態把握①</li> <li>4. 「道徳」の授業のねらいや授業構想</li> <li>5. 「道徳」の指導案作成について</li> <li>6. 「道徳」の指導案検討のためのグループワーク</li> <li>7. 「算数」の授業のねらいや授業構想</li> <li>8. 「算数」の指導案作成について</li> <li>9. 「算数」の指導案検討のためのグループワーク</li> <li>10. 「教育実習を充実させるために必要なこと」についてのグループワーク</li> <li>11. 学習指導案作成(小集団グループ)算数-各自にて作成した指導案の検討</li> <li>12. 学習指導案作成(小集団グループ)算数-集団にて検討</li> <li>13.14. 学習指導案作成(小集団グループ)算数指導案のまとめ</li> <li>15. 学習指導案作成(小集団グループ)道徳-各自にて作成した指導案の検討</li> <li>16. 学習指導案作成(小集団グループ)道徳-集団にて検討と教員に必要な資質能力の自己の実態把握②</li> <li>17.18. 学習指導案作成(小集団グループ)道徳指導案のまとめ</li> <li>19. 学習指導案作成(小集団グループ)まとめ</li> <li>20.21.22. 4年生との模擬授業(グループ別)</li> <li>23.24.25.26.27. 外部講師との模擬授業(グループ別)道徳</li> <li>28. 実習日誌の記入方法、記録の取り方など</li> </ol> <p>事前指導として教育実習校にも訪問して実習担当の先生からもご指導をいただきながら教育実習の準備をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>29. 教育実習の省察</li> <li>30. 教育実習報告会の準備と教員に必要な資質能力の自己の変容把握</li> <li>31. 教育実習報告会</li> </ol> <p>教育実習の振り返りをして、その内容を次年度以降に教育実習に取り組む学生に報告します。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育実習の目的と意義を理解する。</li> <li>2 教育実習に対する心構えを身につける。</li> <li>3 研究授業の学習指導案を作成することができる。</li> <li>4 学習指導案に基づいた研究授業の準備、および授業を展開することができる。</li> <li>5 教育実習の成果を具体的に報告できる。</li> </ol>						
授業時間外の学修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習校の見学や自主実習等を行い、教職員・児童との交流を行うこと。</li> <li>2 教師力向上のため、課外授業や自主学習に積極的に取り組むこと。</li> <li>3 課題について熱心に取組み、指摘された内容については修正を加えて仕上げる。</li> </ol>						
課題に対する フィードバック	レポートは採点后返却し解説をします	評価方法			以下の項目に基づいて評価する。 1 学習意欲(事前・事後学習) 10点 2 教育実習小テスト 10点 3 学習指導案・模擬授業 70点 4 実習後の報告 10点		
テキスト	南九州大学子ども教育学科編『教育実習の手引き』   その他、必要に応じて資料を配布します。						
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	教育実習Ⅱ事前事後指導(幼) [Guidance Before-after Internships in Pre-school/SchoolⅡ]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	750151	授業形態	実習	単位数	1	配当学年	4年次
教員氏名	藤本 朋美			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(1)		
授業概要	<p>この授業は、教育実習の事前と事後に行う教育実習に関する指導を通して、教育実習の目的の達成をより確かなものにするを目的としています。</p> <p>事前指導では、幼稚園における教育実習の意義と目的、実習の内容と方法、実習日誌の書き方、記録の取り方、実習課題、指導案の作成の方法等について学びます。指導案の作成と併せて模擬保育を実施することで、子ども達の発達に応じた遊びやかかわり方を検討します。加えて、必要な準備物、主体的参加心得、身だしなみ(髪型・服装・言葉遣い等)、園長や指導教員等の教職員、幼児や保護者等への接し方について具体的に指導します。【知識・技能の育成】【態度・志向性の育成】</p> <p>事後指導では、教育実習で得た知見をもとに、保育・幼児教育の基礎的・基本的事項の重要性や保育者に求められる資質・能力について考え、保育者としての自己の課題を把握します。【汎用性能力の育成】【態度・志向性の育成】</p>						
関連する科目	<p>事前に「保育者論」を受講しておくことが望ましい。</p> <p>履修後に「教職実践演習(幼)」を受講することが望ましい。</p>						
授業の進め方と方法	<p>事前指導は、講義または演習形式の授業(模擬保育を含む)を行います。グループディスカッション等にて学びを深め、必要に応じて、レポートやプレゼンテーションにより自らの考えを表現します。</p> <p>事後指導は、グループディスカッション等にて実習の学びを深めるとともに、自らの学びや考えをレポートにて表現します。また、下級生や実習園指導教員に向けた報告会を行います。報告会はポスターセッション形式で行います。【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】</p>						
授業計画	<p>&lt;事前指導&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習の意義・心構え・資格確認 これまでの学びを振り返り、実習の意義や目的を確認します。同時に実習に対する不安を言語化し共有します。</li> <li>2. 幼稚園と保育園、幼稚園の一日の流れ 幼稚園における保育・幼児教育について「幼稚園教育要領」から整理します。</li> <li>3. 年齢別に見る子どもたちの姿 子どもたちの各年齢における特徴を学び、かかわる際の留意点について検討します。</li> <li>4. 実習日誌 ①意義</li> <li>5. 実習日誌 ②書き方 なぜ実習日誌を書くのか(意義)、何を書くのか(項目)、どのように書くのか(視点と記録方法)、どう生かすのか(指導案との関係)について学びます。</li> <li>6. 実習指導案とは</li> <li>7. 模擬保育案の作成と実施 ①グループでの作成</li> <li>8. 模擬保育案の作成と実施 ②-1 個人作成(代表者aによる模擬保育とグループディスカッション)</li> <li>9. 模擬保育案の作成と実施 ②-2 個人作成(代表者bによる模擬保育とグループディスカッション)</li> <li>10. 模擬保育からの学び なぜ指導案を書くのか(意義)、作成のポイント等について確認し、実際に指導案を作成することで書き方等を検討します。</li> <li>11. 作成した指導案にそって模擬保育を行い、活動に必要な準備や教材研究、子ども達の姿の予想、関わる上での留意点などについて学びます。</li> <li>12. 実習前最終確認(実習課題と実習の心構え) 実習日誌事前記入事項や、身だしなみ、準備物について最終確認を行います。</li> </ol> <p>&lt;事後指導&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. 実習を終えて(お礼状の作成と課題の把握)</li> <li>13. 実習の成果について</li> <li>14. 実習報告作成</li> <li>15. 実習報告会 実習を振り返り、自身の学びを確認します。それぞれの学びを共有しすることで、自身の課題について考えます。</li> </ol> <p>実習における学びを整理し、報告会を行います。報告会はポスターセッションで行います。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育実習に参加する際の心構えほか、実習日誌・実習指導案の作成方法を理解することができる。 【知識・技能の育成】【態度・志向性の育成】</li> <li>2. 教育実習で学んだことを集約し、保育者としての資質を高めるべく今後の学習の方向性を定めることができる。 【汎用的技能の育成】</li> <li>3. 幼稚園教育への意欲と関心を高め、教師としての意志と適性を確認することができる。 【態度・志向性の育成】</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>教育実習に向けて、実習園への見学や自主実習等を行い、情報収集を行うこと。また、自身の保育技術向上のため、課外授業や自主学習に積極的に取り組んでください。</p> <p>実習後には、教育実習および事後指導での学びを振り返り、自身の課題を明確にします。自身の課題の克服のためにどのような取り組みが必要か考え、実行してください。</p>						
課題に対する フィードバック	実習日誌、レポートは評価後、返却し解説をします。			評価方法	学習への意欲的な取り組み 50点 ※原則として授業への遅刻・欠席、提出物の未提出(期限厳守)は認めません。 レポート 50点		
テキスト	『幼稚園教育要領解説』文部科学省(2017)フレーベル館、(240円+税)『実習の手引き』南九州大学						
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介しします。						
備考							